

学年	中学3年	教科	技術	科目	技術・家庭	単位数	1
教科書名	技術・家庭 技術分野（開隆堂）			副教材名	なし		
クラス・コース	中高一貫						

## I. 目標

実践的・体験的な学習活動を通して、情報分野に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、情報に関する技術を活用する能力と態度を育てる。また、生徒がこれからの社会における情報の扱いについて考えることで、さまざまな生活の場面で情報を活かす力を育成する。

## II. 授業のねらい

コンピュータが組み込まれた機器の特徴や仕組みについて学び、よりコンピュータを身近なものにする。また、実践的な学習活動から、プログラミングに対する興味・関心を向上させ、生徒が自ら問題解決に向け行動する力を育てる。

## III. 授業の進め方

1. 教科書の内容を中心に授業を展開する。
2. 作成課題を行うことにより、実践的な授業を展開し、知識・技術の定着を図る。

## IV. 学習上の留意点

1. 生活や社会を支える情報の技術について考える。
2. ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決方法について考える。
3. 計測・制御のプログラミングによる問題の解決について考える。

## V. 定期試験

- 1学期 期末試験 : 生活や社会と情報の技術、情報とコンピュータ、情報セキュリティと情報モラル  
双方向性のあるコンテンツによる問題解決
- 2学期 期末試験 : 双方向性のあるコンテンツによる問題解決、計測・制御による問題解決
- 3学期 学年末 : なし

## VI. 評価の方法

定期試験、提出物（レポート等）の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	生活や社会と情報の技術 情報とコンピュータ	意欲・態度 提出物 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある情報の技術について知るとともに、そのはたらきについて関心を持つ。</li> <li>・コンピュータを構成する装置を知り、その役割やコンピュータで情報を処理する仕組みを知る。</li> <li>・情報を正しく扱うためのルールやマナーを考え、安全対策の必要性を知る。</li> </ul>
	5	情報セキュリティと情報モラル		
	6	双方向性のあるコンテンツによる問題解決		
	7			
二学期	9	双方向性のあるコンテンツによる問題解決	意欲・態度 提出物 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理の流れを図などに表せるようにする。</li> <li>・情報を処理する手順を考えるとともに、基本プログラムを作成できる。</li> </ul>
	10	計測・制御による問題解決		
	11			
	12			
三学期	1	1年間のまとめ	意欲・態度 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や条件に合わせてプログラムを工夫することができる。</li> </ul>
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。